

ふばはちまんぐう しゅうきれいたいさい

不破八幡宮 秋季例大祭

マンガで見る

神様の結婚式

かみさまのけっこんしき





はじめに

不破八幡宮のお祭り『神様の結婚式』をもっと盛り上げたい！との思いで、マンガで『神様の結婚式』を紹介する本誌を制作いたしました。

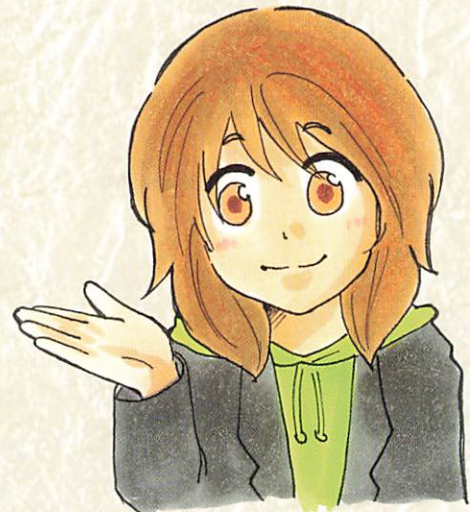
この本を手にする中・高校生や若い人達に、お祭りのことをもっと知ってもらい、お祭りを見に行ったり参加していただき、今後何十年く何百年も『神様の結婚式』が、地域を代表するお祭りとして受け継がれていくことを願っています。

マンガを描いてくれた「四万十漫画倶楽部」の皆さま、対談で登場してくれた安倍夜郎さん、左古文男さん。また、クラウドファンディング等を通じてご支援を頂いた方々に心より御礼を申し上げます。ありがとうございます。

平成二十九年九月

中村商工会議所

不破八幡宮大祭「神様の結婚式」を盛り上げたい！プロジェクト一同



- 01 はじめに
- 02 目次
- 03 主な登場人物
- 04 マンガ『神様の結婚式』
- 23 四万十川を渡る女神の嫁入り道
- 25 「不破八幡宮」紹介
- 26 「一宮神社」紹介
- 27 「神様の結婚式」行事の紹介
- 29 “はちまんさん”の思い出 対談 安倍夜郎 × 左古文男
- 31 教えて！亀谷宮司
- 33 おまけマンガ「一番はだあれ？」
- 35 四万十川情報
- 36 「四万十漫画倶楽部」紹介
- 36 ご支援をいただいた皆様

主な登場人物

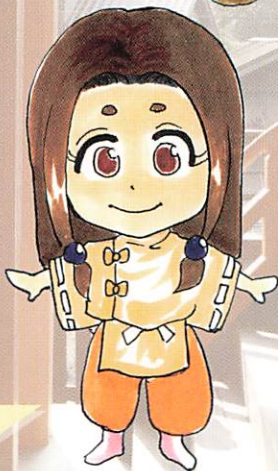
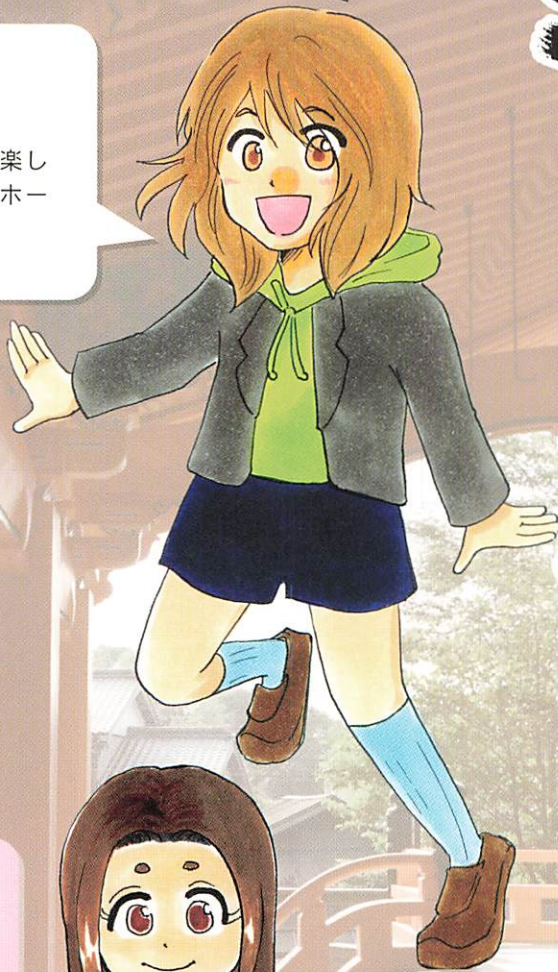
広瀬まな

生まれも育ちも四万十市。
上京して1年目。大学で日々楽しく
すごしている。最近、少しホーム
シック。明るいのがとりえ。



銚名御前 (ほこなごぜん)

一宮神社にまつられている
女神のひとり。気性が荒く、
けんかをよぶ神と言われて
いる。



徳益御前 (とくますごぜん)

平和と豊穡の女神。この神様
がお嫁になった年は平和で
天候に恵まれる。

椎名御前 (しいなごぜん)

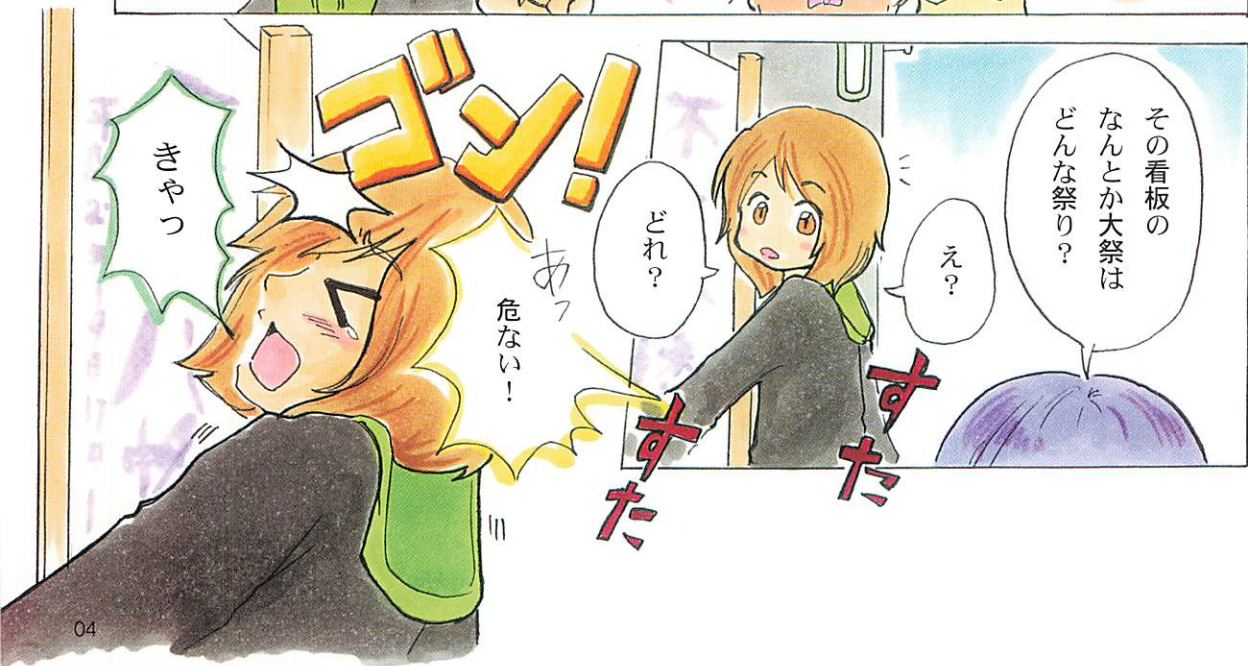
一宮神社にまつられている女
神のひとり。雨をふらす神と言
われている。

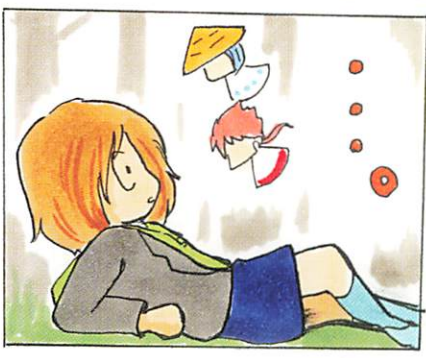
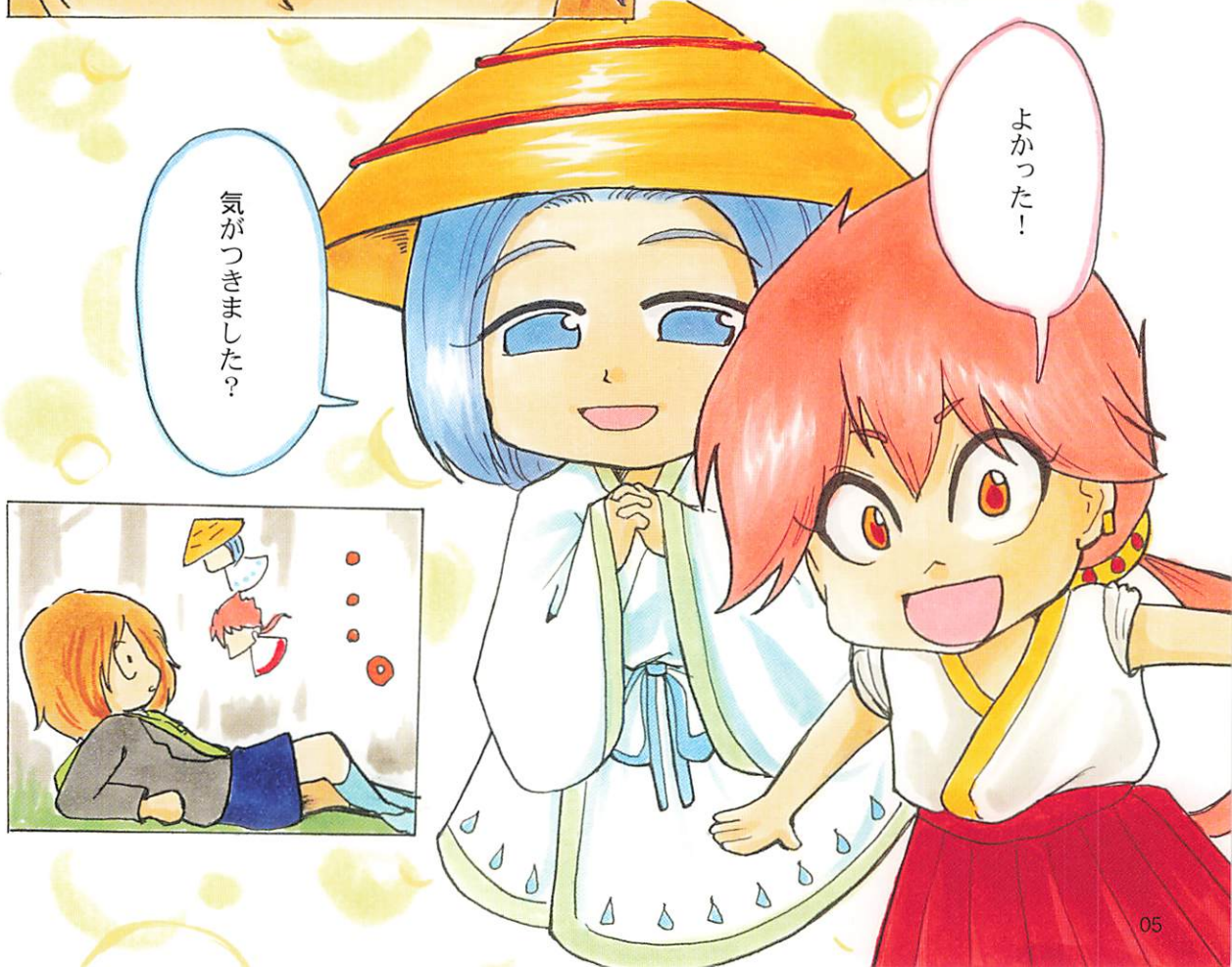


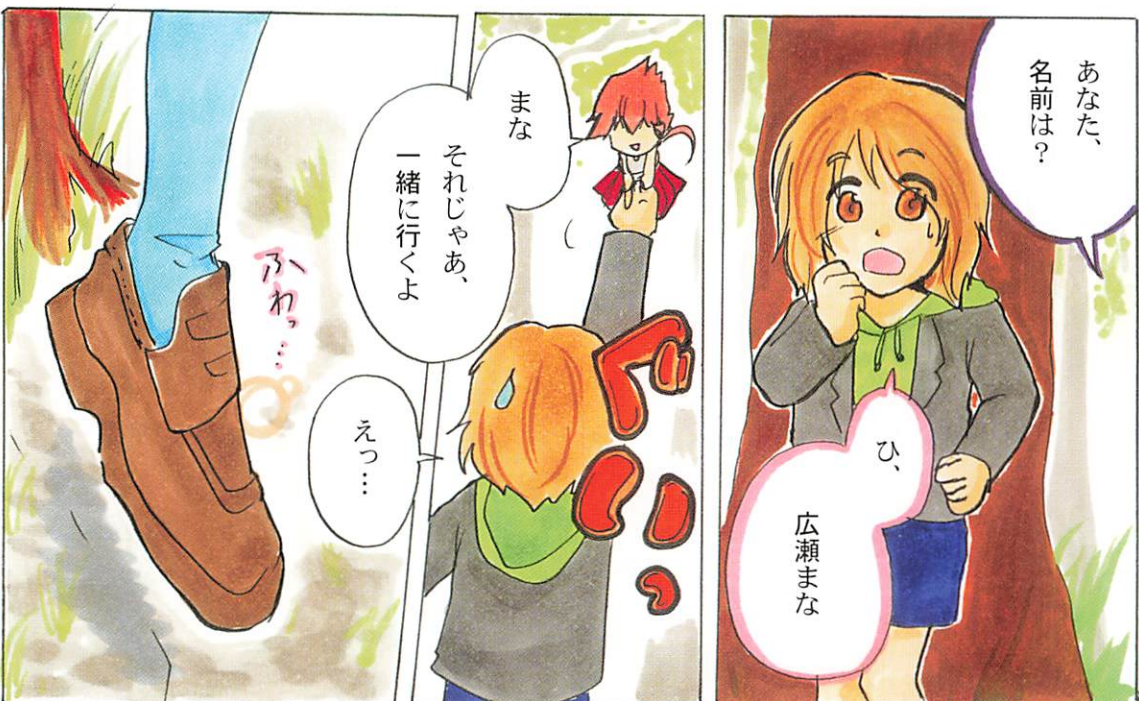
神様の結婚式

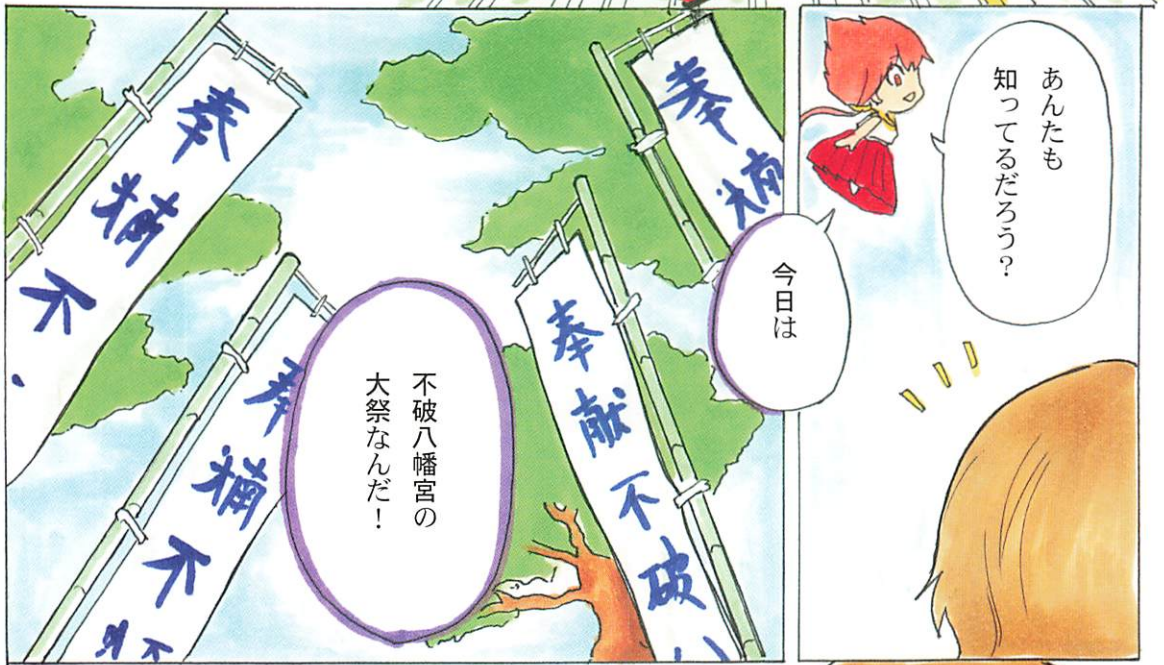
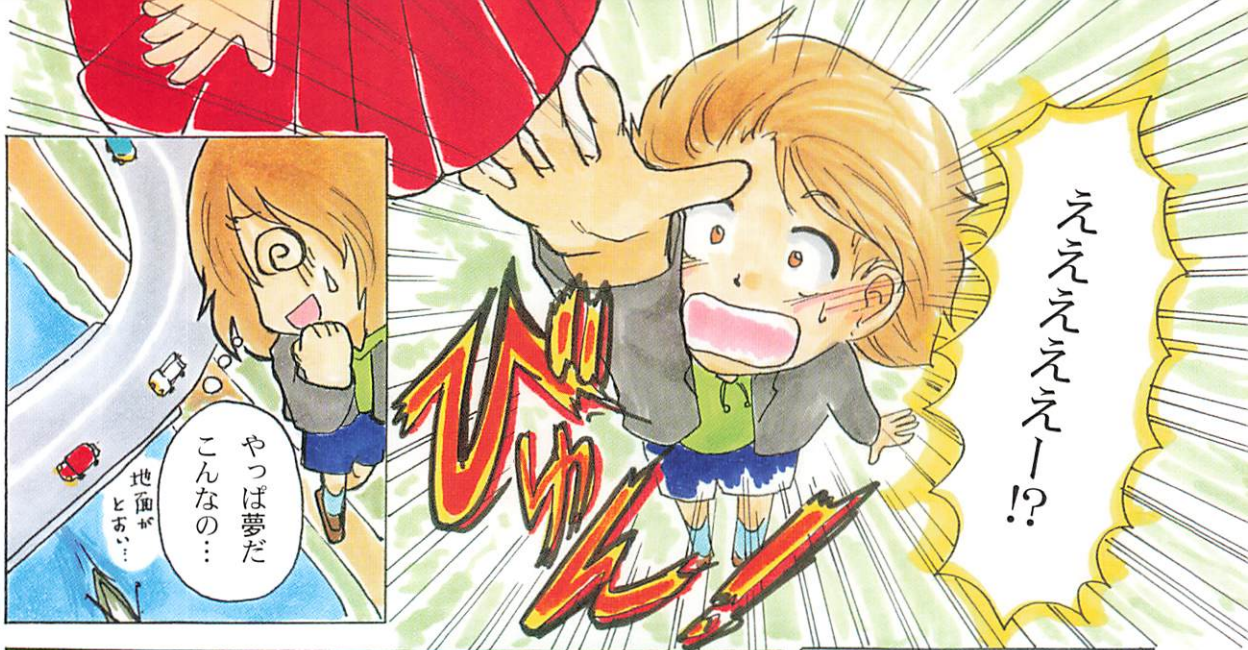
かみさまのけっこんしき

かみさまのけっこんしき
神様の結婚式





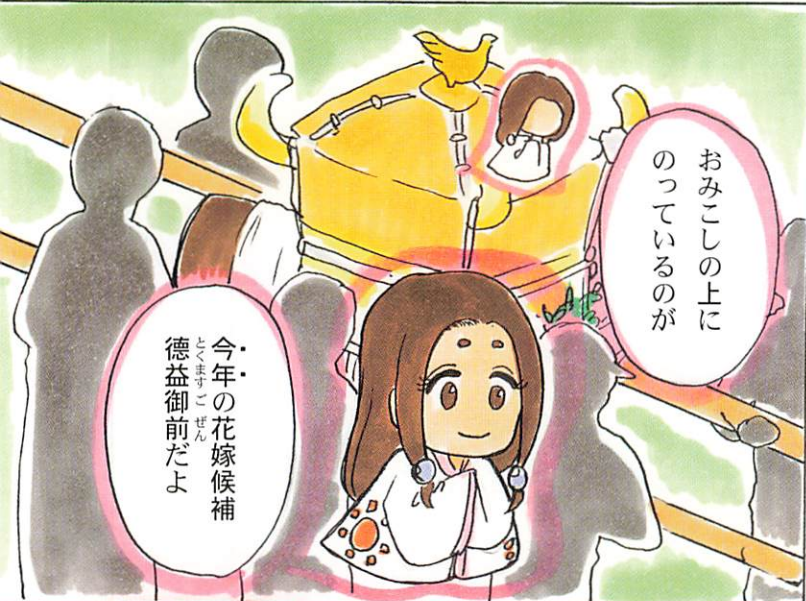






四万十市初崎鎮座
一宮神社

神様の
結婚式なの！



今年の花嫁候補
徳益御前だよ

おみこしの上の
のっているのが



ほら
おみこしが
出てきたよ



椎名と

ちなみに我々が、
残念ながら今年
落選した2柱

銚名よ

神様
だったんだ…



「今年の」？

一宮神社にいる
3柱(※)から
花嫁候補は毎年
くじ引きによって
選ばれるのよ

くじ!?

※柱…神様の数え方・単位

前日の「宵宮祭」で
くじを引いたら

一宮神社の氏子総代は
そのまま神社で
おみこしと泊まる

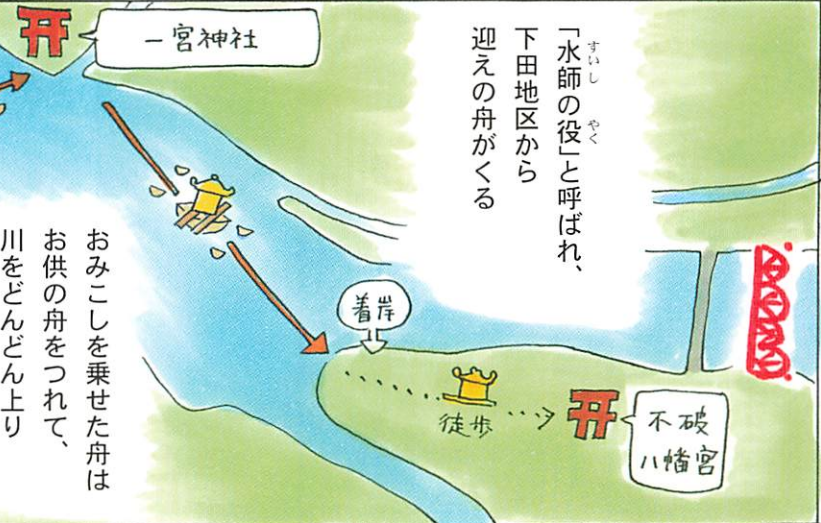


そして
祭り当日の朝に
おみこしを出して
舟へ運ぶんだ



舟?

「水師の役」と呼ばれ、
下田地区から
迎えの舟がくる



おみこしを乗せた舟は
お供の舟をつれて、
川をどんだん上り
不破へ向かうんだ

至 土佐湾

下田

ちなみに
この図は
すーごく
略してます



もー！
のんびり運ぶの
待ってられない

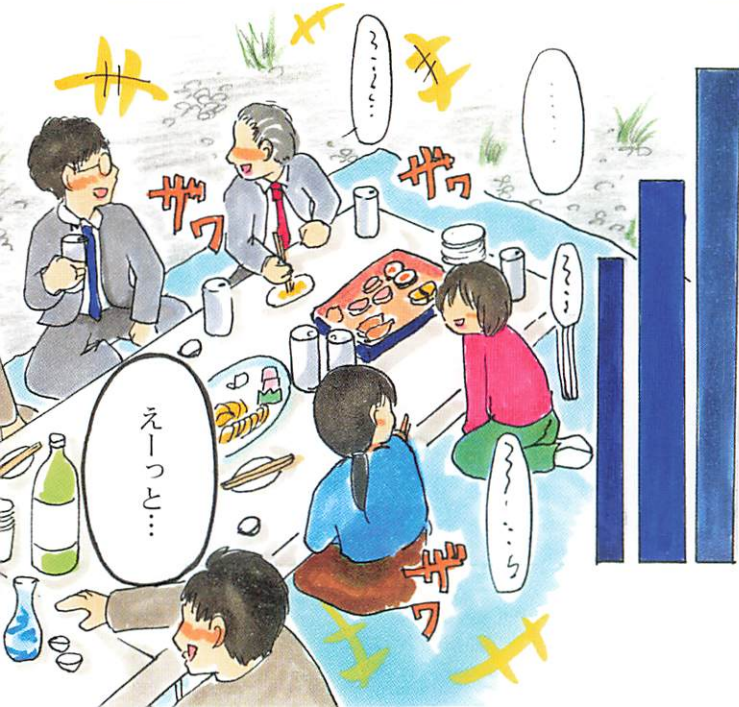


先に不破側へ
渡っちゃおう！



せーかちほ
うでさのよ

えー！



えーっと...

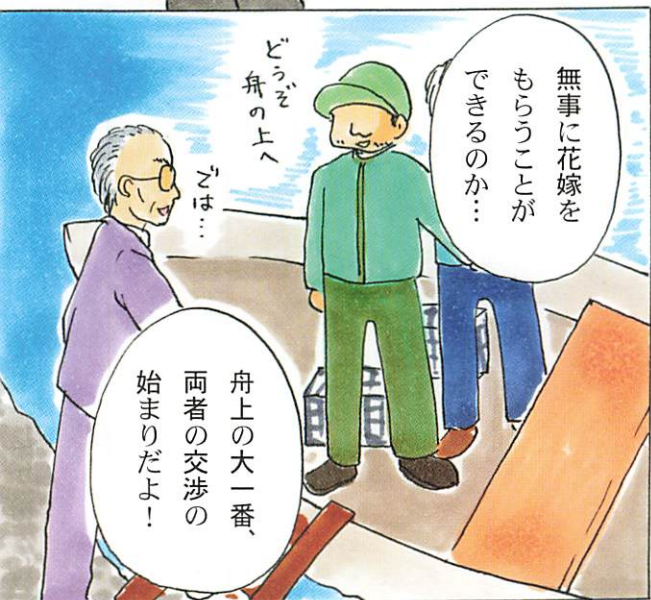


あ
婚姻前の
景気づけさ



大事な
「お客」ですわ

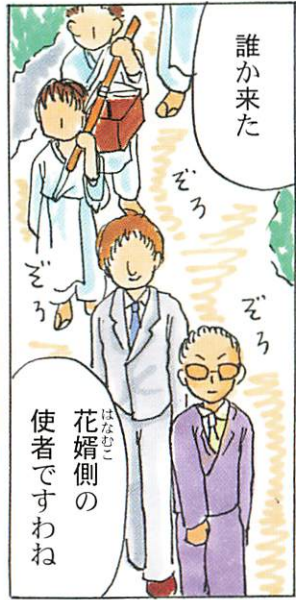
おみこしが
到着したのに
みなさんで
宴会…？



どうぞ
舟の上へ

無事に花嫁を
もつうことが
できるのか…

舟上の大一番、
両者の交渉の
始まりだよ！



誰か来た

ぞろ

ぞろ

花婿側の
使者ですわね



どん!



まあ
見えて



最高のナスを
持ってきました！

えー…
今日は花嫁のために





なるほど…

確かに美しく、この色ツヤも、二股ふたまたの形も珍しい…ですが

花嫁の目にはかないませんな

いや、そんな…



数万本に一本の美しさですよ

このキズも気になるし…

いや、これならうちの畑にあるナスの方が

あーだ 雨風に耐えた証拠ですよ

もっと太くて立派なものがあるのでは…

いや、この張りともみずみずしさは他には…



まあまあ、それから…

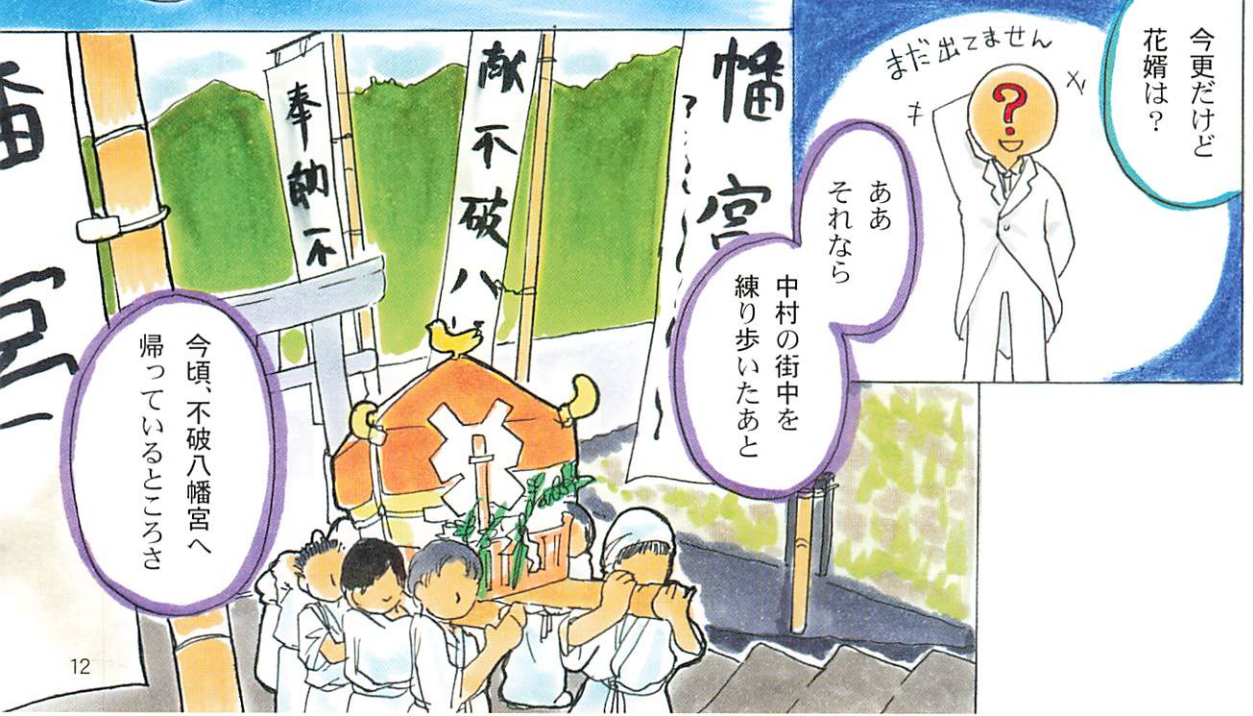
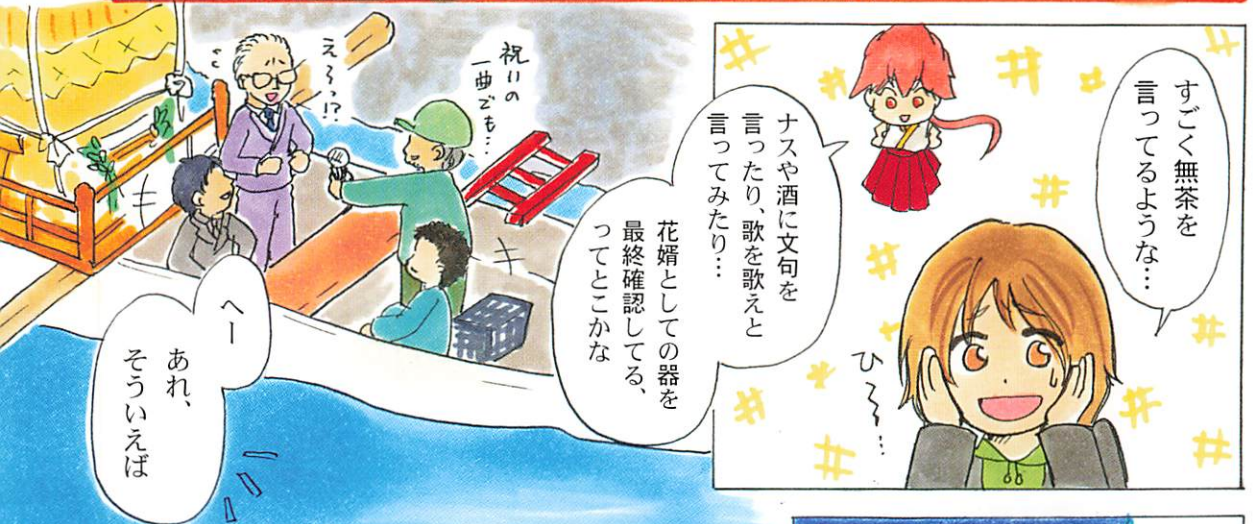
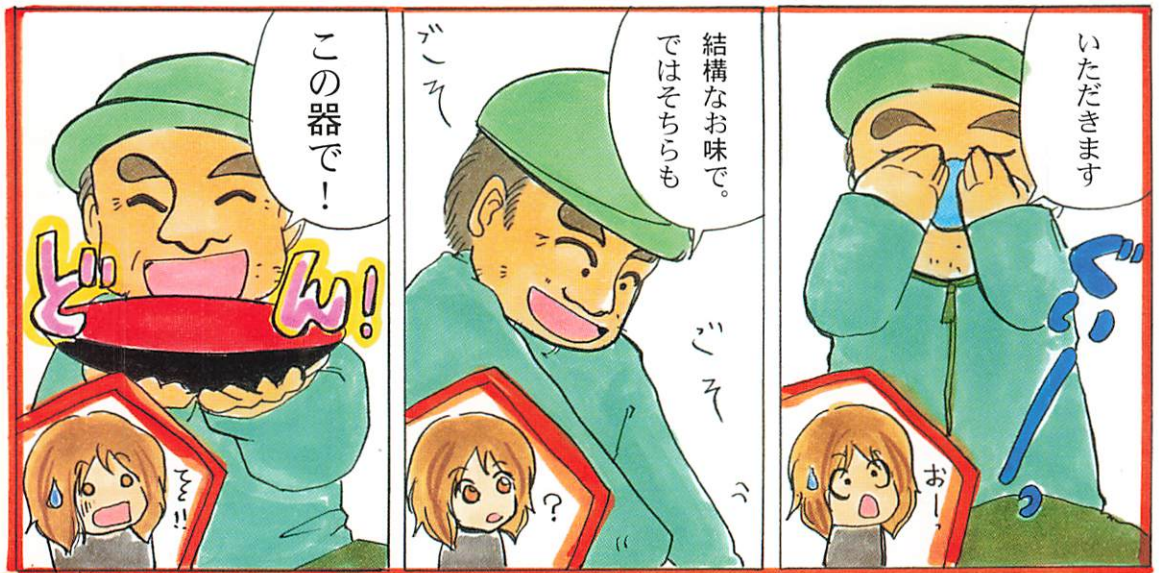
花嫁にお酒も持ってきました



献上品のナスを交渉の材料にして

花嫁にとってふさわしい相手か とことん言い合う

通称 なすびと 「茄子取り」さ







地元高校生による「あげ馬」ですわね

もう一頭ままー

さか、まー

すごい迫力だね

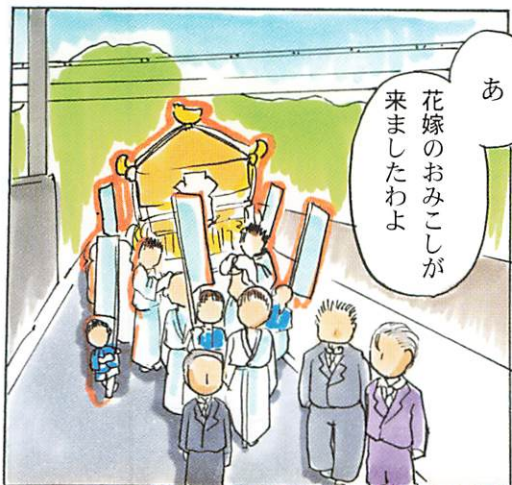


あけは、

平気だよ！

びっくりした…

今わたしおぼけ状態なのね…



あ
花嫁のおみこしが来ましたわよ



祭りの意味を知っている人は減ってるかもね

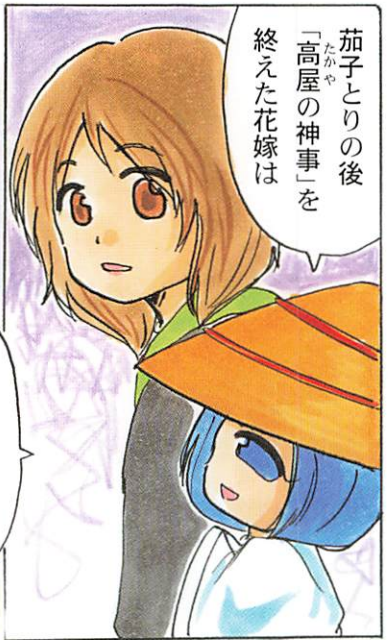


あげ馬や屋台は知られてるけど

その他の儀式がある事とか



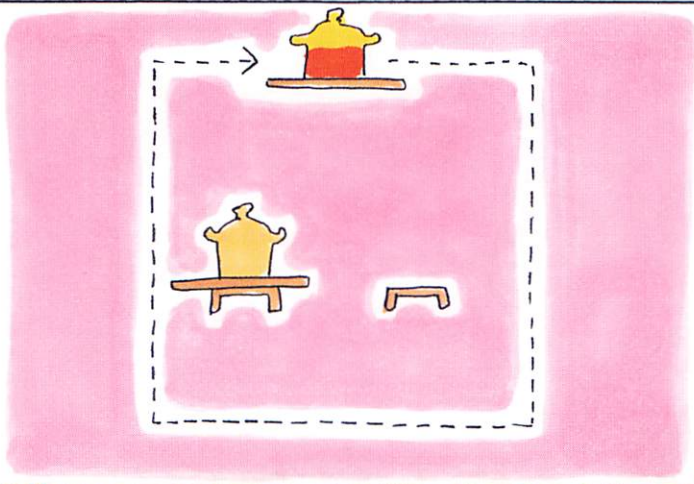
斎場(式場)へ向かうんですの



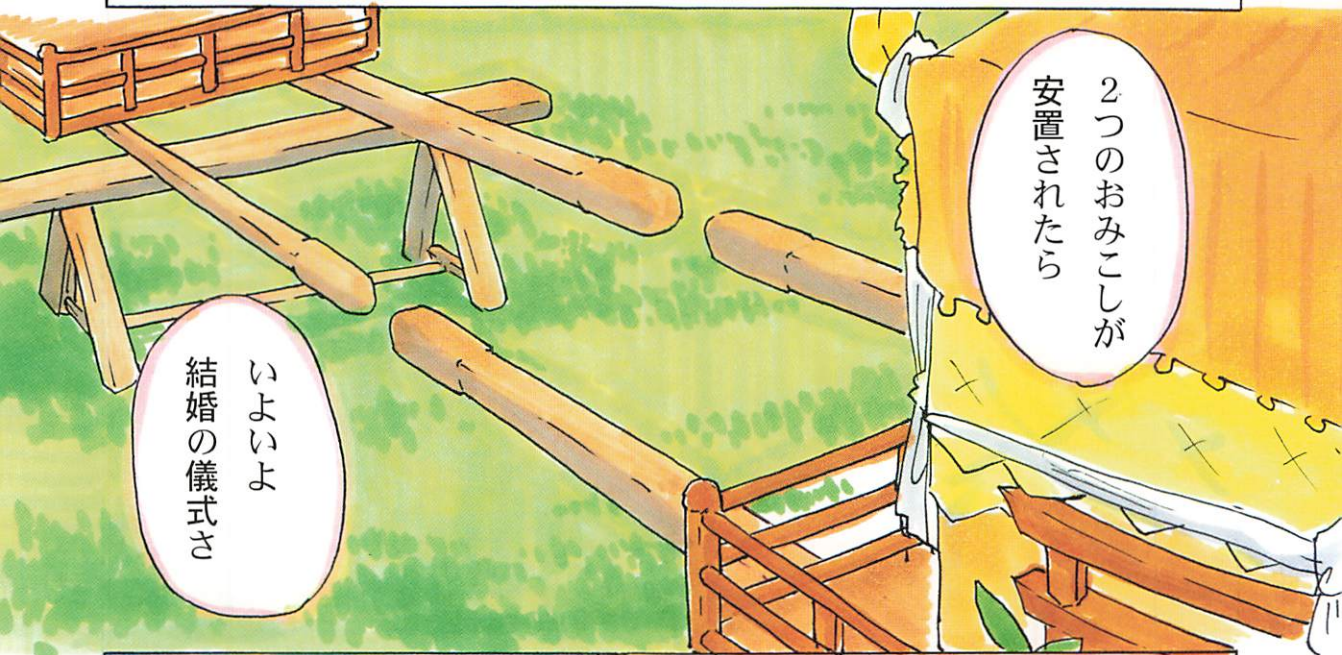
茄子とりの後「高屋の神事」を終えた花嫁は

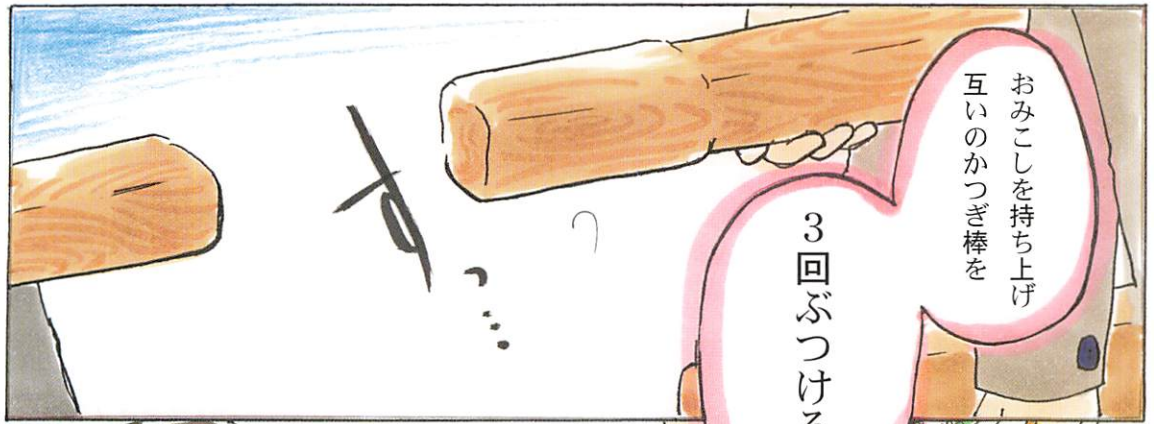


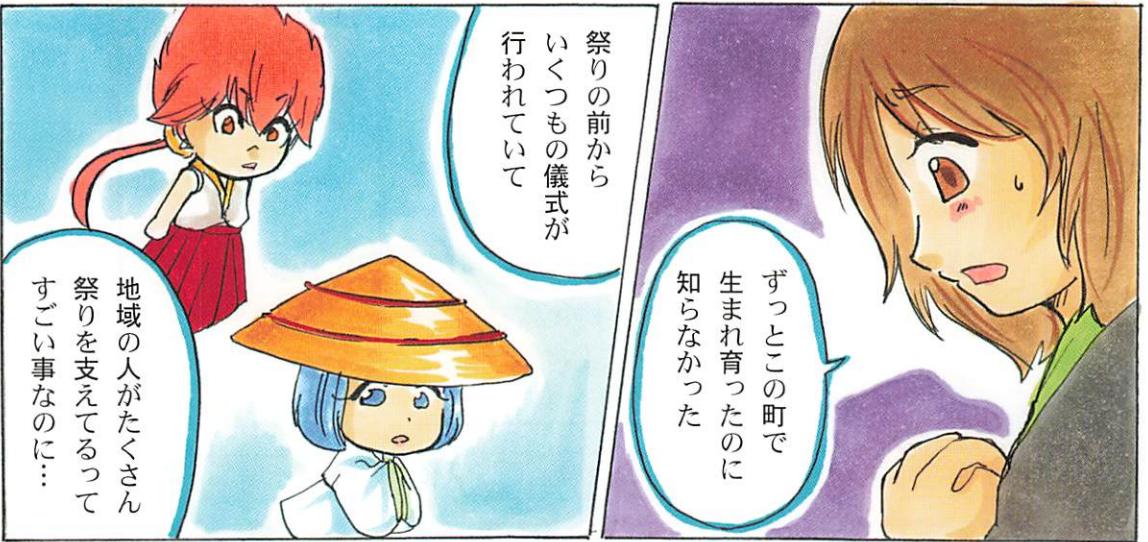
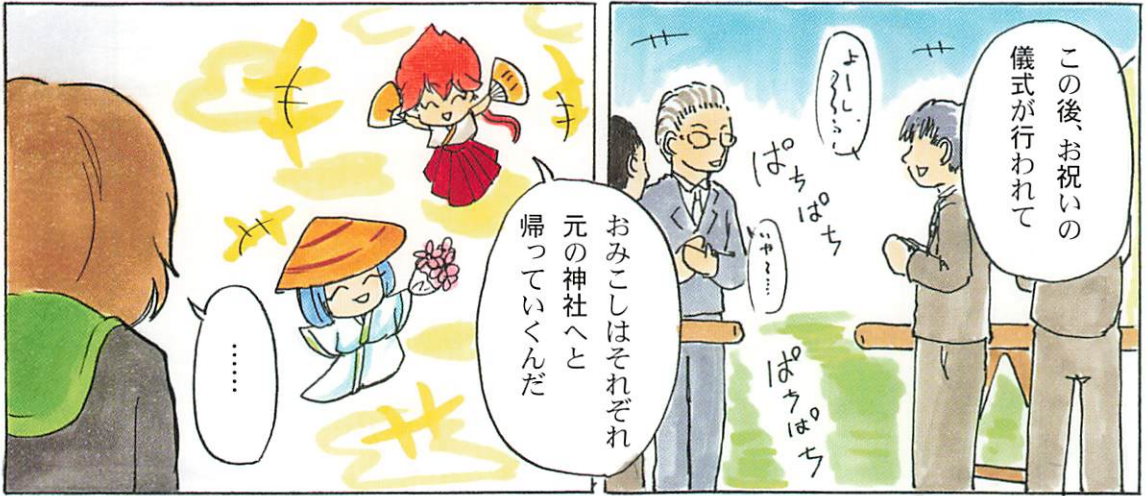
決まった速さ、決まった場所でおみこしをかついで、四角に三周まわる儀式で



先に花嫁（一宮側）がそれを行い、みこし台に座る。次に花婿（不破側）も角廻しをして、みこし台に座る。

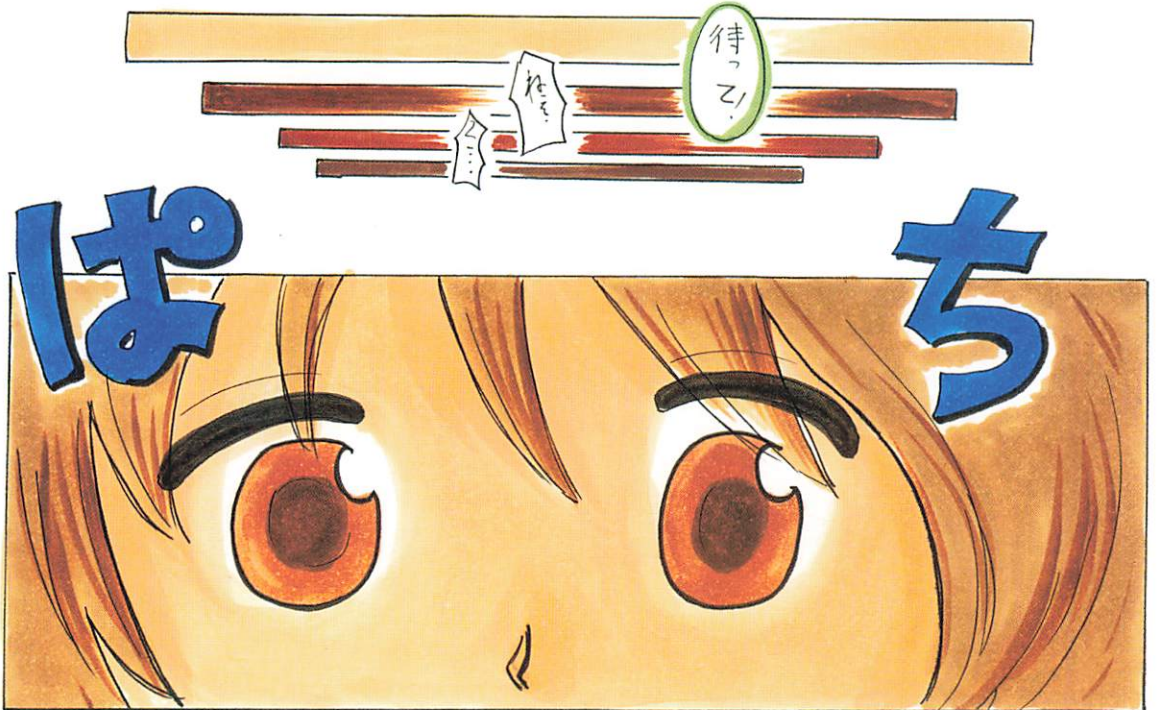
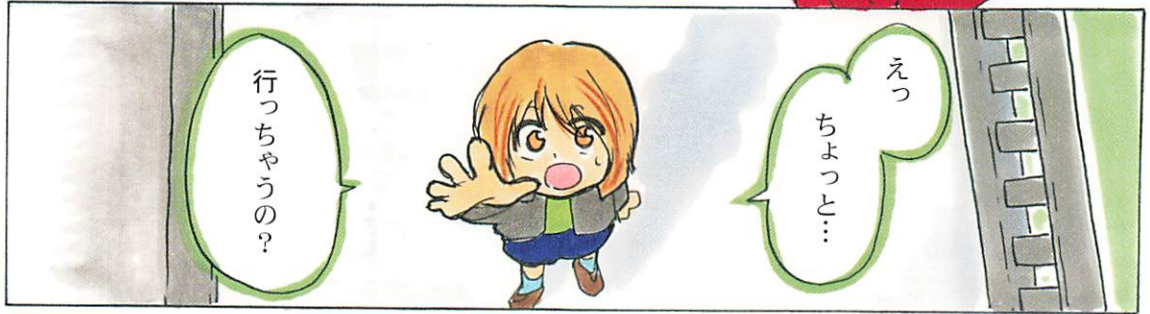


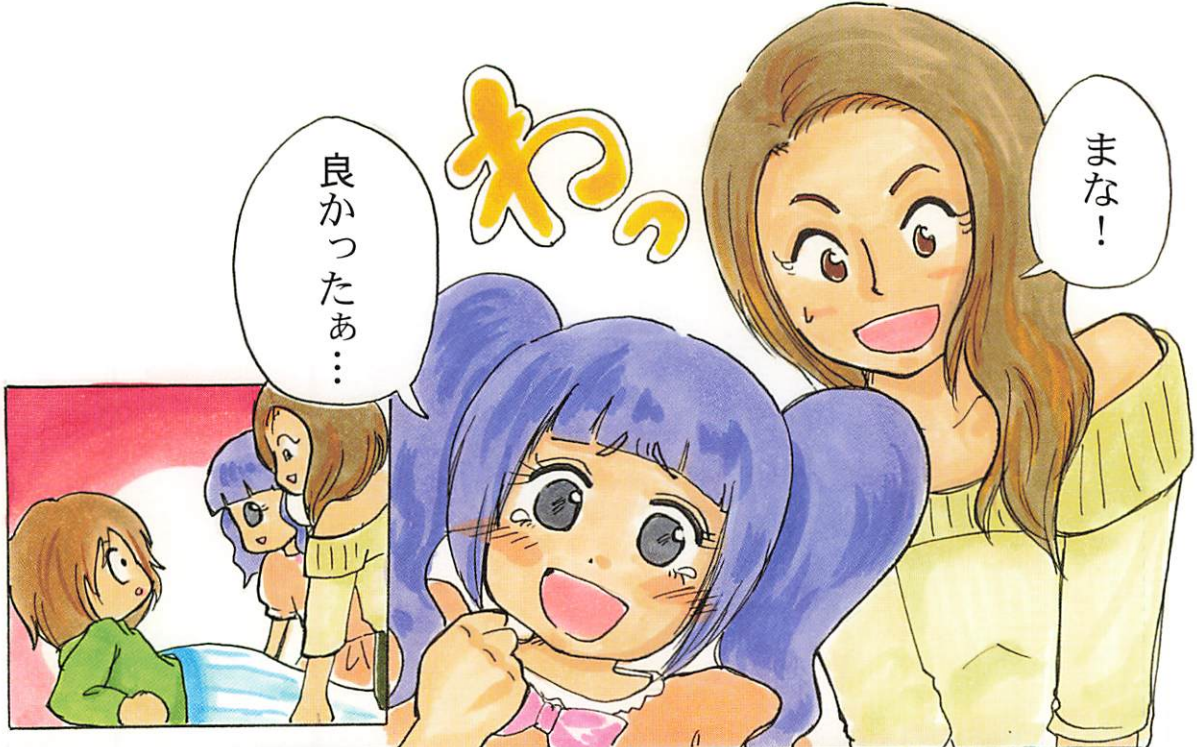




まだまだ知らない
「はちまんさん」を
知るために

次は友達や
家族も一緒にね！

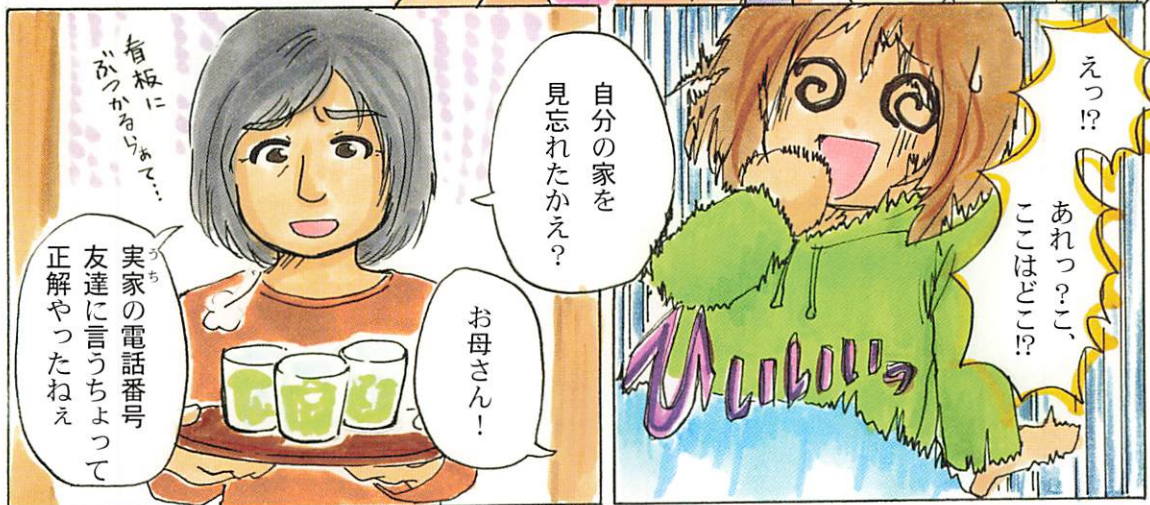
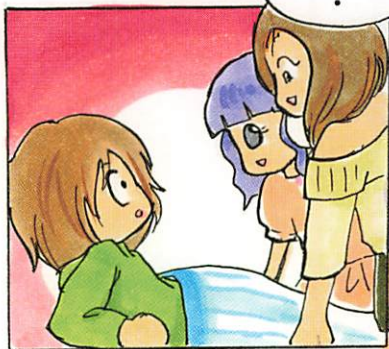




まな!

わっ

良かったあ…



えっ!?

あれっ? っ
ここはどこ!?

自分の家を見
忘れたかえ?

お母さん!

看板に
かつかるしん…

実家の電話番号
友達に言うちよって
正解やったねえ



まだ時間あるけん
改めて近い所で
どっか行ったら?

あっ



あたし、どればあ
寝よったが?

3時間

3時間!?

せつかくの
観光日和が
台無しよね

この子は
もうー

おあー

四万五千
二千ばだー



は、
はちまんさん！



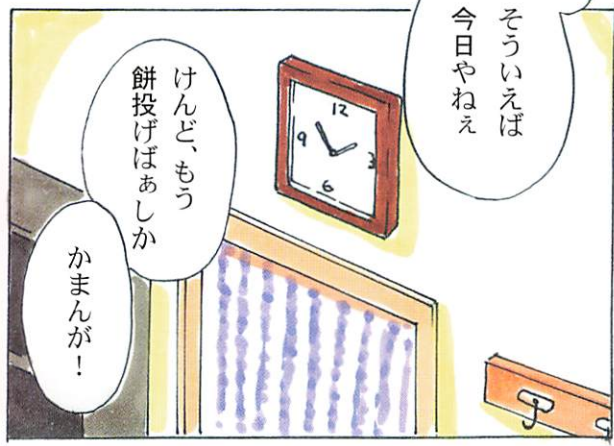
みんなにも
見せたいがよ



あざまの
看板の！

？ ？

ああ…



けんど、もう
餅投げばあしか

かまんが！

そういえば
今日やねえ



神様の
おる場所を……

不破八幡宮本殿

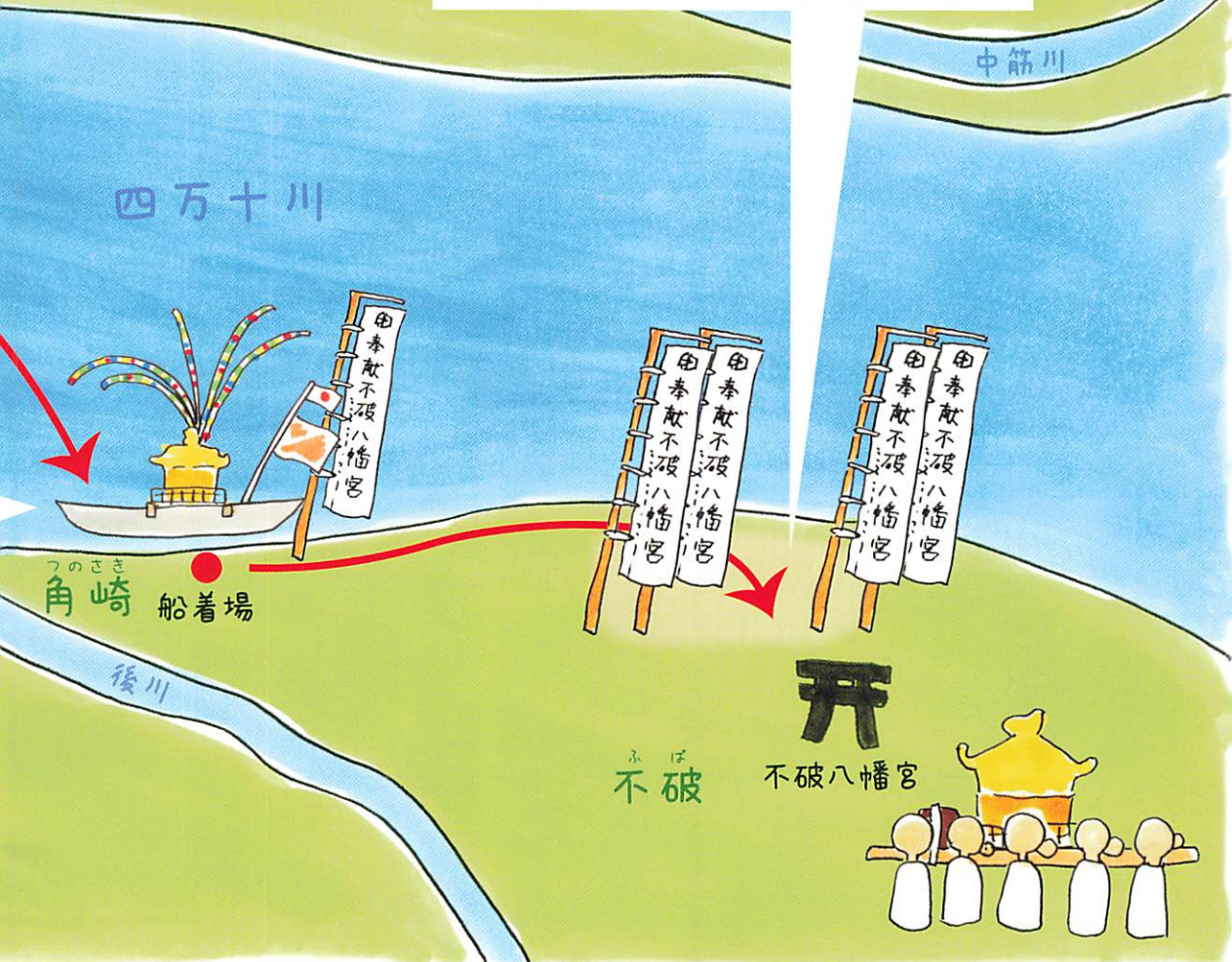
END

ひめ がみ よめ い みち
女神の嫁入り道



さいじょう
 齋場 (式典場)

角廻し、神輿合わせ、本祭典、また、あげ馬など神事や奉納行事などが行われる八幡宮前の広場。川沿いの道路には屋台も立ち並び、地元の人でにぎわう。



しまんとがわわた
四万十川を渡る

はつごさき
 初崎



一宮神社

まごさき
 間崎

至太平洋

しもだ
 下田

いっくじんじゃ
一宮神社

大祭前夜、「みくじ引き」の神事により花嫁候補が決まる。早朝、下田から水師が一宮神社に姫神の乗ったおみこしを迎えに来て、神船で船着場に渡る。また、供付の方も供船と一緒に渡る。



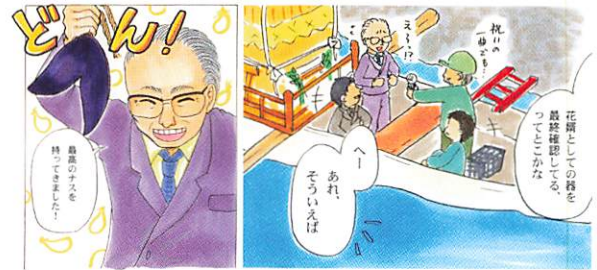
すいし
水師

一宮神社の女神のおみこしを神船に乗せ、四万十川を渡り船着場へ運ぶ役。水戸・串江・下田・松ノ山の各地区が毎年交代で行っている。



ふなつきば
船着場

女神のおみこしが神船に乗り、船着場に付き、船上で茄子取りの儀式が行われる。結婚が成立すると、ここから一宮神社の供付に担がれて齋場に運ばれる。



幡多の総鎮守 不破八幡宮



不破八幡宮

不破八幡宮は約550年前、
 応仁の乱をさげ、自らの所領「幡
 多の荘」を守るため、京都から
 やってきた一條教房公が、幡多
 の総鎮守として、また一條家守
 護神として山城国（京都府）石
 清水八幡宮を勧請したもので、
 正八幡宮、広幡八幡宮といわれ
 ていました。



不破八幡宮

四万十川を目の前にする丘の
 上に建てられた現在の本殿は、
 永禄2年（1559）に再建さ
 れたもので国の重要文化財に指
 定され、高知県下の神社の中で
 は、最古の
 建造物です。

平成27年
 から、20年
 ぶりの保存
 修理工事を
 行い、平成
 29年7月末
 に完了しま
 した。



重要文化財
 なんだろ。



重要文化財 不破八幡宮本殿



重要文化財 不破八幡宮本殿

● 不破八幡宮の神様 ●

不破八幡宮には三柱の神様が祀られて
 います。

ほむだわけのみこと さんはしら おうじん
 『品陀和気命』：第15代天皇 応神天皇

たまよりびめのみこと
 『玉依姫命』

おきながたらしひめのみこと じんぐうこうごう
 『息長足姫命』：神功皇后

● 不破八幡宮本殿の特徴 ●

現在の本殿は室町時代に建てられ、その後
 十数回修理が行われましたが、当時の様式が
 保存されています。

形式は、三間社流造、屋根はこけら葺き。柱・
 組物など室町末期の典型的な様式を現し、彫
 刻も地方色豊かな大胆な手法で、日本の古い
 建築分布上からも重要とされています。

花嫁候補三女神を奉る一宮神社

不破八幡宮と四万十川を挟んで対岸の八束地区の初崎に鎮座する神社です。全国でも数本しかない「銀象嵌七星剣」が伝わっています。

「神様の結婚式」の花嫁候補となる三女神を奉っています。

■徳益御前…豊作と平和の神様

■椎名御前…雨を降らす神様

■銚名御前…気性が荒く争いが好きな神様



一宮神社

毎年この中から、宵宮祭の「みくじ引き神事」で花嫁が選ばれます。



とくますごぜん
徳益御前

平和と豊穡の女神。この神様がお嫁になった年は平和で天候に恵まれる。



ほこなごぜん
銚名御前

気性が激しい喧嘩の女神。この神様がお嫁になった年のお祭りは必ず喧嘩になる。



しいなごぜん
椎名御前

雨を降らす女神。頭に小さな傷があり、それが恥ずかしくて雨を降らすらしい。

土佐の小京都中村

高知県四万十市中村は、1468年(応仁2年)に前関白、一條教房公が応仁の乱の混乱を避け、所領であった土佐国幡多荘に京都から下向してきて、鴨川、東山、大文字など京都になぞらえて町づくりをしたことがルーツです。



香山寺より市街地を望む

教房公とともに公家や武士、職人なども同行し、中村繁栄の基礎を築きました。

日本最後の清流といわれる「四万十川」の最下流部にあたる中村平野に位置しています。



大文字の送り火 (四万十市間崎)



土佐一條公家行列「藤祭り」

不破八幡宮大祭（神様の結婚式）は一條教房公が始めたお祭りです。

京都から遠く離れた土佐の西
南端に位置するこの幡多地区は、
未開の土地までとはいえないま
でも京都に比べ文化水準は大き
く遅れていました。京都五摂家
の一つである一條家の目から見
れば一層その感を深くするもの
であつたでしょう。
そこで、やぶさめ等の神事で
勇武の指導をすると共に、当時
盛んに行われた「嫁かつぎ」等
の風習を矯正するため八幡宮と
一宮神社結婚式を祭典神事に折
り込んで行い、しかも、祭典費

捻出のための課する物もその土
地々々の産物を利用し、供応の
ものなども極めて簡素なものを
もって質素節約を旨とし毎年盛
大に行われるようにし、こうし
て神事を通じて庶民大衆の生活
指導を行ったものであるといわ
れています。

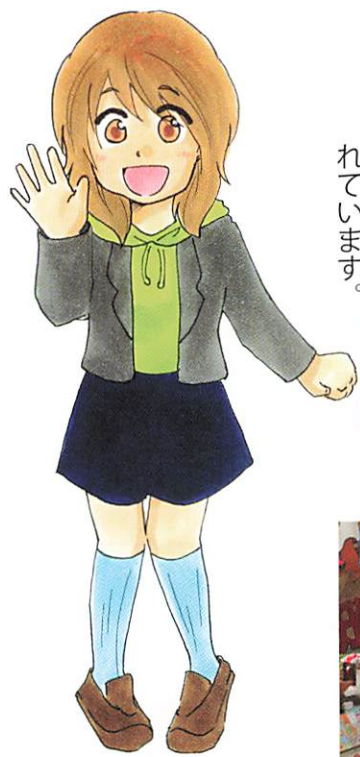
お祭りは、
毎年9月の
「敬老の日」の前の土日
に開催します♪



露店の風景

不破八幡宮大祭の神事・行事

■ 8月上旬	場所
神輿洗い	四万十川
■ 前日	
結納の儀	(旧) 宮司宅
潮垢離	四万十川 (角崎地区)
公式祭	不破八幡宮
宵宮祭	不破八幡宮
宵宮祭	一宮神社
■ 当日	
神輿巡幸	市内巡幸
茄子取り (船戸上げ)	船着場 (角崎地区)
御旅の祭典	須賀神社 (百笑地区)
高屋の祭典	不破八幡宮前
神輿合わせの儀式	不破八幡宮前
本祭典	不破八幡宮前



祭りの風景



神輿巡幸



あげ馬・流鎬馬奉納



【神輿洗い】

結婚式を前に、八月上旬の良き日に、不破地区の 10 数名の青年たちが神社前の四万十川で神輿を洗い清める。夏の風物詩の一つとなっている。



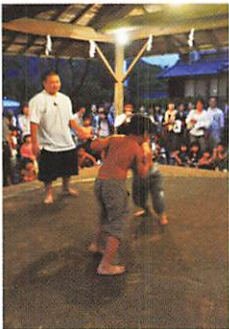
【一宮神社】

不破八幡宮の対岸、初崎地区の神社。結婚候補となる三女神を奉っている。全国でも数本しかない「銀象嵌七星剣」が伝わっている。



【茄子取り（船戸上げ）】

花婿側が花嫁側に気に入ってもらおうと、二股のナスやお酒を振る舞う。花嫁側は簡単には受け取らず無理難題を投げかける。そのやり取りが面白く祭りの見世物になっている。



【宵宮祭】奉納相撲・幡多神楽

宵宮祭は不破八幡宮、一宮神社それぞれで行われる。不破八幡宮では、相撲や神楽が奉納される。一宮神社では、みくじ引き神事が行われる。



【神輿巡幸】

男神輿は当番制で、12 地区が 6 組に分かれ、毎年交代で市街地を巡幸する。



【高屋の祭典】

船戸上げの神事を済ませた花嫁の神輿を仮屋のごとき建物の下に据え、その前で三三九度の盃を行う神事。



【神輿合わせの儀式】

花婿、花嫁の神輿を両社の氏子総代や地区長が持ち上げ、担ぎ棒をゴツン、ゴツン、ゴツンと三回突き合わせる。



本祭典

“はちまんさん”の思い出

対談

漫画家 安倍 夜郎
文筆家 左古 文男

ともに四万十市（旧中村市）出身の漫画家安倍夜郎さんと、
文筆家左古文男さんに “はちまんさん” の思い出を語って
いただきました。

聞き手 山下由紀（中村商工会議所）

● “はちまんさん” の思い出って何かありますか？

左古 「香具師やテキ屋の屋台が延々と並んでいた光景を今でもおぼえています。」

安倍 「夜に行った思い出がありませんね。雨が降った後かなんかで、土がグチャグチャして足元が悪かったイメージがあります。」
左古 「まだ未舗装だったんですよ。そこにずっと香具師の店が続いていて、風情がありましたね。」
“はちまんさん” と “いちじょうさん” が僕ら子どもにとっては大イベントでした。普段はおこづかいがもらえないから、ヤマイモを掘ったりイタドリなんか採って食べていたんだけど

“はちまんさん” や “いちじょうさん” になると、おこづかいがもらえる。板垣退助の百円札をもらったことが、非常に思い出に残っています。」

● お相撲もありましたよね？

左古 「奉納相撲ですね。あれに参加してプラモデルなんかをもらった記憶があります。」

● 強かったんですね？

左古 「賞品をもらっているから何回か勝ったんでしょうね。」

安倍 「僕はいっさい、相撲はとりませんでした。（笑）」

● 私の時代は参加賞で500円もらえました。

左古 「現金ですか？ 今の子ども

もは価値観が多様化してるからですかね。とにかく相撲は、社交の場で、よその地区の連中と一年に一回顔を合わす。なおかつ勝ったら大きなプラモデルとかももらえる。そういった楽しみがありましたし、人出が多くて賑わっていた記憶があります。」

● 出店で何か買った思い出は？

左古 「イカ焼き、タコ焼き・・・。」

安倍 「あの頃はリンゴ飴。それから色の付いたジュース。赤とか緑とか。だいたい、“いちじょうさん” もそうだけど鳥居の下には、風船と綿菓子があつて。あとはお面が、売ってましたね。」

● お面は高かったですよね。

左古 「1960年代の香具師は、マーチャンダイジングが秀逸で、そこでしか手に入らない手品道具だったりオモチャなんかを売



っていたんですよ。今みたいに大量生産品ではなくて小ロットで、良い物が売ってましたね。」
安倍 「お母さんへのお土産にどうでしょうか、とか言ってる針の穴に糸を通す道具や、ガラス切などもありましたね。」
左古 「火事になって焼け出されたという泥のついた万年筆も売

ってましたね。あれも当時の香具師文化ですね。」

● 神事については？

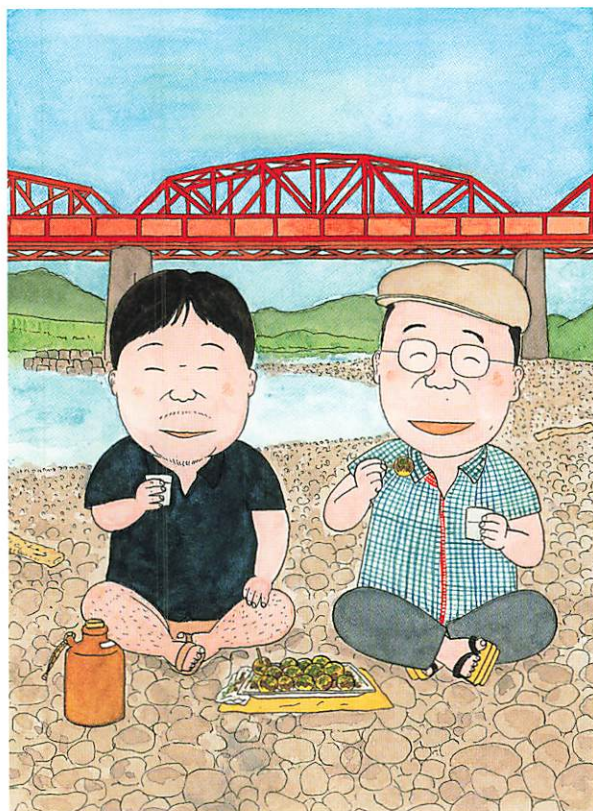
左古 「みこしをぶつけているという話は聞いたことがありませんが、見たことはないですね。」

安倍 「ニュースでは見たことありませんでしたが、本物は見たことないですね。妹は昼間舞台で踊りを踊っていました。」

左古 「こどもの時は神事には興味がなく、奉納相撲も勝てば何かもらえるという、それがうれしいだけで。」

● 『はちまんさん』にカップルで行ったら分かるというウワサがあったんですよ。

左古 「都市伝説でしょ(笑)。僕らが行っていたのは小学生の時だから、女の子と行くなんてことはまずないし、関係ないことですね(笑)。」



© 四万十食堂 おかわり！・安倍夜郎 / 左古文男 / 双葉社

● その都市伝説を今の中学生も信じているんです。でも、実は神様の結婚式があって、縁結びだったという。

安倍 「それはぜひ縁結びの神様で売りだしたらいいのに(笑)。」

● ぜひやりましょう！他に盛り上げるためのアイデアはないでしょうか？

安倍 「着物を着て来たら何か特典があるとか・・・夜歩いていて、向こうの方に露店の灯りが見えてくるのはドキドキするもの

がありました。夜のイメージが強いので、夜に何かイベントがあると良いですね。縁結びなので、婚活のイベントとかいいんじゃないですか？ 昼間は初婚の人で、夜は再婚さん向けで(笑)」

● (笑)・・・左古さんは？

左古 「伝えるという意味で、今回の取り組み(この漫画本作り)は地元の事を知る上ですごく良いことだと思えます。子どもたちが大きくなって都会に出て行ったとしても、田舎を支援できる仕組

みづくりが必要だと思います。それに加えて、1人でも多くの人がSNSなどを使って、『はちまんさん』の魅力を発信し、拡散していくことも大事だと思います。」

● 安倍さん、左古さん、本日はお忙しい中、ありがとうございました。今日のお話を参考に地元でも頑張つて盛り上げていきます！これからもお力添えお願いいたします！

対談：平成29年8月3日(中村商工会館)

安倍夜郎さん

1963年四万十市(旧中村市)生まれ。TVCM制作会社勤務を経て、2004年に『山本耳かき店』でデビュー。2006年より『ビッグコミックオリジナル』でスタートした『深夜食堂』が人気に。2010年、第39回日本漫画家協会賞大賞。

主な著書に『酒の友めしの友』『なんちゃあない話』(ともに実業之日本社)、『生まれたときから下手くそ』(小学館)などがある。

左古文男さん

1960年四万十市(旧中村市)生まれ。1986年『YOKOHAMA BAY CITY BLUES』で漫画家としてデビュー。1989年に小説家に転向し、幅広い分野で執筆する傍ら、雑誌や書籍の企画・編集も行っている。

主な著書に『坂本龍馬脱藩の道をゆく』『ゲゲゲの旅』(ともに学研パブリッシング)、『四万十食堂』『オアシス食堂』(ともに安倍夜郎との共著・双葉社)などがある。

教えて！

Q & A

かめだにぐうじ 亀谷宮司

不破八幡宮や大祭にはまだまだ知らない不思議がいっぱい！
第16代宮司の亀谷文裕さんに、答えていただきました！



かめだにふみひろ
宮司 亀谷文裕

四万十市出身・昭和59年5月生まれ。中村高校・國學院大學卒業。趣味はバスケットボール。家族は妻と一男一女。

Q1

神社にある「八」のマークは何ですか？

A 八幡宮の神使がハトなんです。「八」に見えるのはハトが二羽、向かい合っている形です。



Q2

“はちまんさん”の神様でどんな神様？

A 不破八幡宮には三柱の神様が祀られています。その中で「神様の結婚式」を行う男神は「品陀和気命ほむだわけのみこと」です。品陀和気命は筑紫国つくしのかくに（福岡県）の生まれで、母の神功皇后しんくうこうごうの死後、第十五代天皇に即位（応神天皇）。歴史的に、実在した日本最古の天皇と言われています。

Q3

カップルで“はちまんさん”のお祭りに行くと、別れるというウワサを聞きました。が、どうなんですか？

A そんなことないですよ（笑）。不破八幡宮のお祭りでは「神様の結婚式」を行っていて、地域の方には「縁結び」の神様としても信仰をいただいています。



Q4

「おみこし」って誰が担いでいるの？

A 八幡宮では、おみこしを担いで巡幸を行う人を「供付ともつけ」といいます。供付は市内の12地区が6組に分かれ、毎年交代で担当しています。このように、複数の地区が当番制で行っているのは、全国的にも珍しいです。



Q6

「茄子取り」の神事ではなぜ二股のナスを使うの？



A はっきりとは分かりません(笑)。が、その珍しさが神様に喜んでもらえるからではないか。毎年、氏子さんたちは二股のナスを探すのに苦労しています(笑)。

Q5

「みこし洗い」って何ですか？

A 「みこし洗い」は神様の結婚式に向けて神様の乗物である「おみこし」を四万十川につけて洗い清めることで、昔から行われています。この「みこし洗い」から結婚式に向けての準備がスタートします。一宮神社の女みこしでも行われています。

Q7

お祭りでは、他にどんなことがありますか？

A 不破八幡宮の大祭では、昔から行っている様々な神事のほか、美味しい食べ物の屋台がたかさん出たり、小学生の相撲大会など楽しいイベントがいっぱい行われています。お友達同士や家族と一緒にぜひ遊びに来てください！



おまけマンガ
一番はだあれ？

本編では出番が
少なかったけど、
私も神様です

とくまさごぜん
徳益御前

彼女が選ばれた年は
豊作で、争いもないと
言われている

女神を選ぶくじは
その一年の世相を
占うものでもあり

徳益御前は
3柱で一番の
美人で…

ん？
それって

ちなみに

銚名が選ばれると
争いがおこると
言われていますわ。
物騒ですわね

ちょっと!!

ふむ

ふむ

あんただって
雨を降らす神って
言われてるでしょ!

めいわく
だよ

ええ、
そうですね

雨がふらないと
作物は育たない
ですわよ?!

ケンカしてこそ
分かり合うことも
あるでしょう!!

うふふ、
まさに「雨降って
地固まる」ですわ

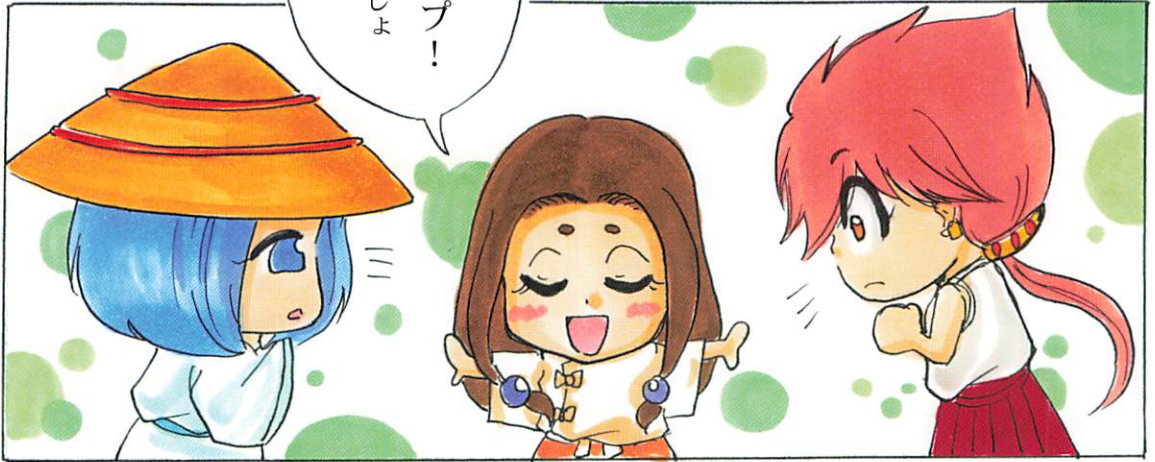
なにをー

あわ、あわ、

大体、あんたが
雨を降らす
理由だって

雨がふっていれば
そのカサの下を
かくせるから

ストーッブ！
お茶でもしましょ



毎年徳益御前が
選ばれるのが
良いのでは…

なーんて

口に出さなくて
よかった…

いいバランスの
3柱ね…

END

ちなみに。

椎名御前は頭に
「びす」(いわゆる
髪の毛の薄い部分)が
あると言われている

乙女心だね…

ふはメモ



四万十川



四万十川は、高知県高岡郡津野町の不入山を源流とし、蛇行を繰り返しながら多くの支流が集まり、四万十市で太平洋に流れ込みます。全長196km、四国で一番長く、流域面積も吉野川に次ぎ第2位。柿田川(静岡県)・長良川(岐阜県・愛知県・三重県)とともに「日本三大清流の一つ」と呼ばれています。「名水百選」、「日本の秘境100選」にも選ばれています。

支流も含めて47の沈下橋があり、その景観は四万十川の代名詞となっています。



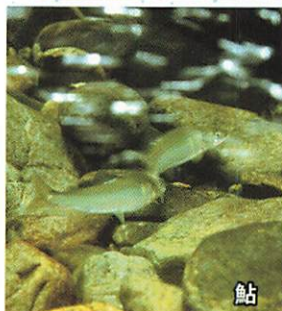
入田菜の花畑



四万十川 佐田沈下橋



カヌー



鮎



青のり干し

四万十川の恵みに包まれて

ぶしゅかん

柚子

ごり

青のり

かつお塩たたき

季節の味覚

豊かな自然から生まれる

うなぎ

つがに

天然あゆ

川えび

2015年夏、四万十市主催の漫画イベントで偶然出会った天野鷹(あまのたか・中村高校漫画研究部 OG) と舞人(まいと) の2人が発起人となり立ち上げた団体。通称、「しまくら」。

プロではないけれども指導・同人活動経験があることから、イラストや漫画の作成から完成作品の展示、冊子の発行などを通し、幡多からの漫画文化発信の拠点となるべく四万十市で活動中。月に1回の例会の他、個別指導も。

現在中学生～50代の20人程が在籍し、楽しく制作・交流をしています。



『神様の結婚式を盛り上げよう!』プロジェクトにご支援をいただいた皆様 (敬称略)

道原大貴	(株) 檜建	(株) 福田工務店	(株) サワチカ
岸本克博	前田嘉一	刈谷建設(株)	(株) 柏原冷熱設備
古川佳和	多田和真	幡多信用金庫	(資) 木戸竹葉堂薬局
橋本智哉	古越久之	鈴ハイヤー(有)	木戸和美
小原励一	廣田良嗣	豚座建設(株)	安倍夜郎
進道楽美	稲田正晴	(有) 白木保険事務所	安澤綾子
山脇豊明	遠藤泰広	土森塗料店	安澤伸一
久武弘明	来住裕子	どい時計店	高橋宗則
札幌俊作	上野正光	(有) 美粧堂	佐伯達雄
佐伯幸子	能瀬浩史	(有) せいぶ印刷工房	西岡信昭
中垣博文	村尾利明	高知西南交通(株)	西内史光
檜木康彦	縄野光孝	四万十ロイヤル(株)	西内輝枝

マンガで見る

不破八幡宮秋季大祭

『神様の結婚式』

■発行日

平成二十九年九月一日

■発行所

中村商工会議所

〒七八七-〇〇二九

高知県四万十市中村小姓町四六

☎〇八八〇-三四-四三三三

■印刷所

有限会社せいぶ印刷工房

不破八幡宮のお祭
ぜひ見に来て
ください♪



最後まで
読んでいただき
ありがとうございます♪



お車での所要時間（高速道路経由）

- 松山市 ～ 四万十市 ⇒ 約 3 時間 (160km)
- 高松市 ～ 四万十市 ⇒ 約 3 時間 30 分 (235km)
- 徳島市 ～ 四万十市 ⇒ 約 4 時間 (275km)
- 高知市 ～ 四万十市 ⇒ 約 2 時間 (113km)

(宗) 不破八幡宮 社務所

高知県四万十市不破 1375-7 〒787-0017

電話：0880-35-2839